

防犯ひろしま

HIROSHIMA

『防犯ひろしま』は広島県防犯連合会のホームページ(<https://bouhan-hiroshima.jp>)でも閲覧(印刷)ができます。



音戸大橋とツツジ (写真提供 城根 多佳子)

詐欺被害の防止に向けて

広島県警察本部 生活安全総務課
減らそう犯罪情報官 警部 直原 順 一

昨年、県内における刑法犯認知件数は、前年より60件多い1万4,735件となりました。

自転車盗、車上ねらい、万引き等は100件以上の減少が見られた一方、最も件数が増加した犯罪が「詐欺」で、前年より約250件増えています。被害金額についても、特殊詐欺は約26億3,000万円、SNS型投資詐欺・ロマンス詐欺は約37億8,000万円と、いずれも過去最悪の被害が発生しており、特殊詐欺とSNS型詐欺を合わせると64億円超もの県民の財産がだまし取られています。

それぞれの詐欺被害の特徴について説明しますと、まず、特殊詐欺については、年間を通じて、警察官等を名乗るオレオレ詐欺である「ニセ警察詐欺」の発生が続き、特殊詐欺全体のうち、被害件数で4割、被害額で7割を占めました。「ニセ警察詐欺」の手口では、警察官を名乗る者から「犯人を捕まえたら、あなたの名義のカードが出てきた。

あなたは容疑者になっている。」などと電話がかかってくる。そして、SNSのビデオ通話で偽物の警察手帳や逮捕状を見せられて、不安を煽られた被害者は「口座の調査のため」などとだまされ、犯人が指定する口座に現金等を入金させられてしまうというものです。被害者は、高齢者だけでなくあらゆる世代にわたっており、ネットバンキングや暗号資産の送金などによって、多額の財産をだまし取られています。

SNS型詐欺については、被害額の7割を占める投資詐欺では、SNSや動画サイトに表示されるバナー広告等からアクセスすることで、被害に遭うケースが多くなっています。一方、ロマンス詐欺はダイレクトメッセージでのやり取りを通じて被害に引き込まれていくケースがほとんどで、さらにマッチングアプリでの被害が3割となっています。いずれも、被害者は40歳代から60歳代までが7割を占めています。

新たな被害者を出さないために、県警察は総力を挙げて詐欺被害の未然防止と被疑者の徹底検挙に取り組んでいます。あらゆる機会を通じた手口の周知など、被害防止に関して引き続き御協力をお願いします。

令和7年 広島県の犯罪発生状況

県内の刑法犯総数は前年比0.4%の微増

● 市区町別刑法犯認知件数

区分	認知件数			
	令和7年 1~12月	令和6年 1~12月	増減 件数	増減 増減率
総数	14,735	14,675	60	0.4%
市計	13,828	13,798	30	0.2%
広島市	7,233	7,374	-141	-1.9%
中区	2,002	2,084	-82	-3.9%
東区	575	635	-60	-9.4%
南区	1,143	1,232	-89	-7.2%
西区	1,091	1,050	41	3.9%
安佐南区	1,055	1,062	-7	-0.7%
安佐北区	445	435	10	2.3%
安芸区	260	224	36	16.1%
佐伯区	662	652	10	1.5%
呉市	949	854	95	11.1%
竹原市	66	77	-11	-14.3%
三原市	396	351	45	12.8%
尾道市	468	494	-26	-5.3%
福山市	2,630	2,685	-55	-2.0%
府中市	109	101	8	7.9%
三次市	184	163	21	12.9%
庄原市	98	89	9	10.1%
大竹市	105	92	13	14.1%
東広島市	1,046	990	56	5.7%
廿日市市	385	407	-22	-5.4%
安芸高田市	91	75	16	21.3%
江田島市	68	46	22	47.8%
郡部計	798	783	15	1.9%
安芸郡	616	652	-36	-5.5%
府中町	245	327	-82	-25.1%
海田町	208	177	31	17.5%
熊野町	97	62	35	56.5%
坂町	66	86	-20	-23.3%
山県郡	79	63	16	25.4%
安芸太田町	25	14	11	78.6%
北広島町	54	49	5	10.2%
豊田郡	34	16	18	112.5%
大崎上島町	34	16	18	112.5%
世羅郡	56	34	22	64.7%
世羅町	56	34	22	64.7%
神石郡	13	18	-5	-27.8%
神石高原町	13	18	-5	-27.8%
管轄不祥その他	109	94	15	16.0%

広島県内の令和7年の刑法犯認知件数は1万4,735件で、前年より60件(0.4%)増加しました。広島市や福山市などでは減少したものの、山間部や島しょ部での増加が目立っています。

不安に感じる犯罪については、自転車盗や車上ねらい、器物損壊等の減少により、全体の認知件数も減少しました。

● 不安に感じる犯罪認知状況

区分	認知件数			
	令和7年 1~12月	令和6年 1~12月	増減 件数	増減 増減率
総数	14,735	14,675	60	0.4%
不安に感じる犯罪	6,085	6,349	-264	-4.2%
自転車盗	3,513	3,670	-157	-4.3%
車上ねらい	318	470	-152	-32.3%
器物損壊等	1,140	1,156	-16	-1.4%
侵入強盗	5	5	0	0.0%
侵入窃盗	561	581	-20	-3.4%
住居侵入	298	251	47	18.7%
不同意性交等	97	71	26	36.6%
不同意わいせつ	153	145	8	5.5%

● 特殊詐欺の被害状況【暫定値】

昨年の被害は過去最悪の約26億3,200万円

これまで過去最悪であった平成26年の約16億3,400万円を10億円も上回る被害となりました。

年間を通じて、警察官等を騙る「ニセ警察詐欺」の被害が多く、被害額は特殊詐欺全体の70%に及びました。

年度別	令和7年	令和6年	増減数	増減率
被害件数	468	295	173	58.6%
被害額(百万円)	2,632	1,166	1,466	125.7%



令和7年度定時理事会を開催 ～事業計画など決める～

公益社団法人広島県防犯連合会は、2月19日(木)広島市中区のメルパルクHIROSHIMAにおいて、広島県警察本部より生活安全部参事官兼生活安全総務課長を来賓にお招きし、令和7年度定時理事会を開催しました。

会議では、事務局より報告事項2題、審議議案7題の説明があり、いずれも質疑等なく承認・議決されました。

なお、令和8年度定例総会は、令和8年5月28日(木)午後4時から、メルパルクHIROSHIMAにて開催予定です。

【令和7年度定時理事会の報告事項と審議議案】

○報告事項

- (1) 事務局職員の採用
- (2) 会長及び専務理事の職務執行状況

○審議議案

- (1) 令和8年度事業計画

- (2) 令和8年度収支予算
- (3) 令和8年度資金調達及び設備投資の見込み
- (4) 令和8年度正会員会費(案)
- (5) 令和8年度賛助会員会費の割当(案)
- (6) 令和8年度定時総会
- (7) 規則・規程等の一部改正(案)





令和7年中 非行少年の検挙・補導状況



(単位：人)

区 分	総 数	小学生以下	中学生		高校生	学生等	有 職	無 職
				うち14歳未満				
令和7年中	1,122	198	326	150	326	56	148	68
構成比	100.0%	17.6%	29.1%	13.4%	29.1%	5.0%	13.2%	6.1%
令和6年中	993	176	301	152	292	46	123	55
構成比	100.0%	17.7%	30.3%	15.3%	29.4%	4.6%	12.4%	5.5%
増 減	数	129	25	▲ 2	34	10	25	13
	率	13.0%	12.5%	8.3%	▲ 1.3%	11.6%	21.7%	20.3%

▲は減少を示す。

- 令和7年中の県内の非行少年の検挙・補導総数は、1,122人で4年連続で前年より増加しています。
- 検挙・補導総数のうち、中学生以下が約5割を占めています。
- 罪種では、オートバイ盗が増加、万引き、自転車盗などが微増しています。



ご存じですか？ 少年サポートセンター


広島県警察の少年サポートセンターは、子供たちの健やかな成長を目指し、少年の非行防止と健全育成活動に取り組んでいます。

現在、県内3か所の少年サポートセンターには、少年育成官（少年の非行等に対応する専門職員）や警察官が、少年の非行や被害に関する相談や立ち直り支援活動、街頭補導活動、非行防止講演など様々な活動を関係機関と連携して行っております。

少年たちの抱える問題は、多種多様です。

一人で悩まないで、少年サポートセンターで一緒に考えてみませんか。



	少年サポートセンター		
	ひろしま	ふくやま	ひがしひろしま
所在地	広島市中区国泰寺1-4-15 広島市役所北庁舎別館1階	福山市東桜町3-5 福山市役所本庁舎東棟1階	東広島市八本松米満198-1 西部子ども家庭センター 東広島支所内
連絡先	082-242-5110	084-925-7011	082-427-1555
主な活動区域	広島市及び県西部・北部（安芸高田・山県）地域	福山市及び県東部地域	県南部及び北部（三次・庄原）地域

～寄附物品の寄贈式～

令和7年12月2日、広島県防犯連合会事務局において、有限会社協栄様より自社開発された車両盗難抑止柱（着脱式駐車場ポール）一式を受領しました。

寄附を受けた同製品は駐車場に可動式のポールを設置する際、従来の同様のものより簡単な施工で設置できる車両盗難対策ポールということで、自ら車両盗難に遭った体験から同製品の開発に至った経緯などの説明を受けました。

本会では防犯講話などでの活用を想定しています。



【巻頭写真について】

- 音戸の瀬戸～平清盛が夕日を招き返してわずか1日で切り開いたという伝説の名勝地
- 音戸大橋～主橋梁長172m、1000トン級船舶の航行を可能とする高架橋で昭和36年12月に完成
- ツツジ～4月下旬から5月上旬ころにかげ8000本を超える紅白のツツジが咲き乱れる音戸の瀬戸公園（白ツツジの花言葉は初恋）
- 撮影者は、写真家の城根多佳子氏



公益社団法人
広島県防犯連合会



広島県防犯連合会ホームページURL
https://bouhan-hiroshima.jp

防犯ひろしま

HIROSHIMA

地域の安全・安心を守るために

がんばっています
防犯ボランティア
団体紹介 75

下野地区防犯組合は、平成16年12月1日に発足し、現在は竹原市下野町地区に居住する会員25名で活動しています。

会員と地域警察官が密接に連絡・協調を図り、地域安全活動を推進し、明るく住みよい安全な地域社会づくりを実現することを目的としています。

月に2回のパトロール、年末における夜間警戒パトロール、偶数月の年金支給日には、警察官と協力して、金融機関前で詐欺防止活動、登下校中に学生に対するあいさつ運動や見守り活動などを実施してきました。

月に2回のパトロールでは、地元中学生と協力して作成した詐欺防止の音声テープを広報しながら、地域の特殊詐欺被害防止活動に貢献し、不審者を近寄らせない、犯罪発生「ゼロ」の街づくりを目指しています。

また、下野地区は、結成から約20年間、地区の防犯活動や少年の健全育成活動を推進し

たことを評価され、「令和7年度功労ボランティア団体」として表彰され、より一層活動に励んでいく所存です。

これからも、地域警察官と連携を取りながら、会員各自でできることを無理なく続け、安心安全な暮らしに繋げる活動を続けていければと思っています。



代表
新谷 章
竹原警察署管内
下野地区防犯組合



【広島中央防犯連合会】

宝町交番管内町内会の街頭活動（1月10日）

広島中央警察署宝町交番管内の町内会では、1月10日「110番の日」に地域安全推進員と宝町交番の勤務員で、フジグラン宝町店を訪れた買い物客に、詐欺被害防止やカギかけ運動のチラシと防犯グッズを配布し、各種犯罪被害防止を呼びかけました。



地区防連だより

【三次警察署管内防犯組合連合会】

年末年始県民総ぐるみ運動出動式（11月28日）



三次市長（当連合会会長）に副会長の四方悟氏による宣言（決意表明）



【安芸高田市防犯連合会】

年末防犯パトロール出発式（12月16日）



一日警察署長（現役引退したサンフレッチェ広島の青山敏弘氏）

YouTube X Facebook Instagram

広島県警察 Hiroshima Prefectural Police

「減らそう犯罪」第6期 ひろしまアクション・プラン

計画期間	令和8(2026)年～令和12(2030)年
活動目標	日本一安全安心な広島県の表現

役立っ情報発信中

身近なニュース

フォローしてね!

◎前号記事の訂正とお詫び
前号「防犯ひろしま（令和8年新春号No.243）」掲載の、「令和7年度防犯ポスター・防犯作文」入選者の名前に誤りがありました。（誤り「乃」、正しくは「々」）
正しくは、
作文の部（優秀賞）
呉市立吉浦中学校3年
橋野々香さんです。
大変申し訳ありませんでした。お詫びと訂正をさせていただきます。
※なお、当連合会ホームページの防犯ひろしま新春号は修正版を掲載しております。